

緑のセンターだより

NO.101 平成19年8月1日発行

発行元:(財)札幌市公園緑化協会

豊平公園緑のセンター

ノウゼンカズラ

ノウゼンカズラ科 *Campsis grandiflora* (ノウゼンカズラ属)

ノウゼンカズラ科の植物は種類が多く、熱帯から亜熱帯にかけて約120属800種あると言われています。日本でよく見られるのは黄色がかったオレンジ色の中国産の凌霄花(リョウシヨウカ) (*C. grandiflora*)と北アメリカ産の濃いサーモンピンクのいわゆるアメリカノウゼンカズラ(別名コノウゼンカズラ) (*C. radicans*)です。

中国産の凌霄花とはずいぶん難しい漢字で、由来も諸説ありますが、漢字から「凌」は覆う、あるいは凌ぐ、「霄」は大空という意味で、空いっぱいに明るく咲き誇るこの花の様子を表しています。また、カズラとはつる性のことです。

英語では、花冠の先がラッパのよう開いていていることから、チャイニーズ ランペット クリーパー(Trumpet creeper)「中国生まれの、ラッパのような植物」と呼ばれています。

日本へは平安時代の初期に、中国原産のノウゼンカズラが渡来し、蔓性落葉樹として観賞用に庭で栽培されるようになりました。

蔓は長さ5メートルに伸び、葉は対生し、奇数羽状複葉で5~9枚からなる小葉は卵状で先はとがり、縁は粗い鋸歯を持っています。北国では、8月の中旬から、垂れ下がった枝の先に円錐花序を出し、直径6cmほどの漏斗状の花を横向きにつけます。花冠は燈赤色で、先が不規則に5個に裂けています。

オレンジ色の花が空へ咲き昇るさまは鮮やかであり、散ってもまた華やぎがあります。日盛りに風に揺れる様子は炎を連想させるようです。

日本でも古くから親しまれている花であるノウゼンカズラにちなんだ歌、句はたくさんありますが、NHKラジオ深夜便、「誕生日の花と短歌365日」を詠んだ歌人鳥海明子氏の句集から、7月20日の誕生花ノウゼンカズラより、

古里の杉にからまりあでやかな
ノウゼンカズラ母亡きあとも

ふるさとのスギに以前と変わらずからみついているノウゼンカズラを目にしたとき、元気だった頃の母の面影がよみがえりました。と、心情が記されています。ノウゼンカズラの花言葉は‘名誉’です。

栽培のポイントは、つる性なので金網フェンスなどにからませるかパーゴラなどに植えて、つるを誘引します。一般には、他の庭木などにからませて育てる自然仕立てが多いようです。

繁殖はさし木、根分け、根ざしなど7~8月が適期です。病害虫は春の新梢にアブラムシがつきやすい程度で、他はほとんど発生を見ません。暖地性の花木ですが北国北海道でも冬の寒さに耐え、日当たりのよい肥沃な庭で育てるとよく花を咲きつづけます。(T.K.)

*C. grandiflora**C. radicans*

8月園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00

☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日

☆百合が原 772-3511 木・日

☆平岡樹芸センター 883-2891 水・土

◆果樹の夏季剪定と庭木の夏の剪定

夏季剪定は8月から9月に行う剪定で、8月の土用過ぎになると多くの樹種は伸長成長がやや止まり、肥大成長期に入ります。

枝葉が繁りうつとうしくなった庭木を剪定して樹形を整え、樹冠内をすっきりとして風通しよくしたいものです。

注意したいことは、9月末までに光合成によって来年の養分の蓄積をするため、不用意に多くの枝葉を払わないことと、幹や太い枝が強い日にさらされ樹皮が日焼け障害を受けないようにすることです。

リンゴ、ナシ、モモ、ウメ、プラムなど果樹には真直ぐ伸びる徒長枝が多く出て、果実や下葉が日陰になるのでこの時期剪定します。剪定は樹勢の強いものは多めに、弱いものは少なめにします。暑さが続くようであれば剪定の時期を遅らせます。ブドウは2番枝を整理、結果枝(なり枝)の葉10~12枚程度で芯止めします。

オシコ、マツ類、カエデ類の剪定、生け垣の刈り込みは8月中旬から9月が適期です。

* オンコの刈り込みと剪定

6月中に刈り込んだオシコの2度目の刈り込み時期です。今年は樹冠内の古葉が黄色く枯れこみが多い(前年のカイガラムシの被害と思われる)のでこれをしごき落とし風通しをよくし害虫の発生を防ぎます。

* マツ類の剪定

アカマツ、クロマツは樹勢が強く伸びている枝は切り落とし、樹形を整えます。古葉は取り除きたくありますが、寒風をさけるために敢えて葉むしりは行いません。マツ類は直線的でなく、稻妻型や川の流れのように曲がりやひねりを付けるように剪定します。

* モミジ類の剪定

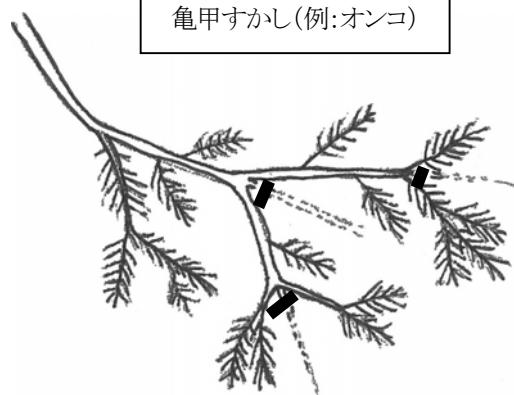
脚立に立ち、上方から枝を見て枝の透かし剪定をします。モミジ類の枝は対生に出るので、中心の芯枝を抜いてゆく亀甲すかしをしてV字仕立てに剪定します。

モミジ類は特に、葉に隠れていた幹や太い枝に直射日光が当たると樹皮が焼けて極端な場合枯れがあるので枝葉を残し日陰になるようにしてあげましょう。

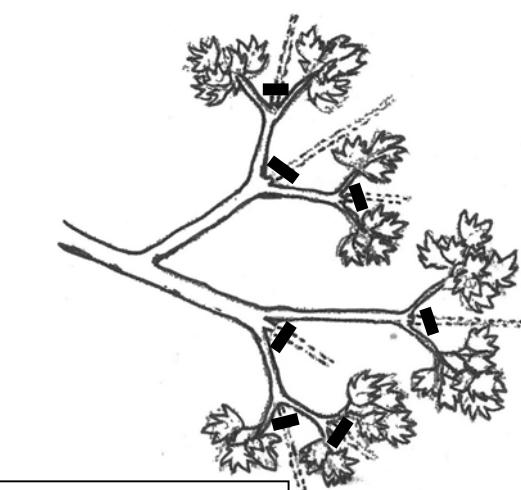
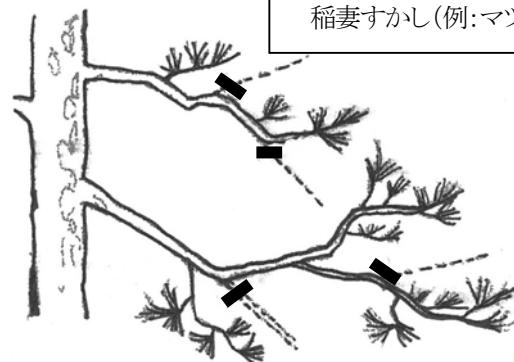
* フジの剪定

フジの剪定は11月の落葉後に行いますが現在長く伸びているツルは先端でかるく芯を止めます。これを伸ばすと花芽の付きが悪くなり翌年の開花に影響します。

亀甲すかし(例:オシコ)



稻妻すかし(例:マツ)



亀甲すかし(例:モミジ)

◆8~9月の洋ラン類の管理

多くの洋ランは春~夏の期間が生长期で、春に出た芽が生長して秋からの充実期を経て花芽を分化し、冬にかけて開花します。この生长期から充実期の管理が非常に大切で、開花させるポイントになります。ここではコチョウラン、デンドロビウム、シンビジウムの8~9月の置き場所、水やり、肥料のポイントを説明します。

コチョウラン

置き場所 コチョウランは高温性のランなので夏期でも室内に置くのが良いと思われがちですが、夏は太陽が直上になるため室内の日照が不足しがちになり葉や株が軟弱になり病害虫にも弱くなります。最低気温が15°C以上になれば、屋外で30~50%の遮光ネットと雨水を防ぐビニルなどをはった小屋や、遮光、雨よけをしてくれる広葉樹の枝の下に吊り下げ、適当な日照と風をあてて健全な株を育てます。最低気温が18°Cを下回るようになら室内のレースのカーテン越しの光が当たる明るい窓際に移します。屋外での管理の間に2枚の健全な葉が育っていれば上出来です。

水やり ミズゴケの表面が乾いたら鉢底から流れ出るまでたっぷりと水を与え、次に乾くまでは一切与えず、乾湿のめりはりをつける水やりがコツです。當時ミズゴケが湿っているようだと根腐れします。

肥料 置き肥を避け液肥のみを与えるほうが無難です。液肥は標準の希釈倍率よりも濃いと根を傷めます。希釈倍率に気をつけ、8月中は10日に1度、9月からは半月に1度ほど、窒素、リン酸、カリの配合が等量の洋ラン用液肥を与えます。

デンドロビウム(ノビル系)

置き場所、水やり デンドロビウム(ノビル系)は中低温性のランで日光を大好きです。この期間は物干し竿に吊るしたりして十分に日光に当て、9月からは雨に当てないようにし、水やりも3~5日に1回程度と控えめにし株の充実をはかります。

肥料 8月になって止め葉が出たら肥料を止めます。その後40~50日ほどでバルブの表面がくろぶん黄色みを帯びてきます。

低温処理 上記のような状態になったら9月下旬~10月上旬までに最低気温が7~8°Cになるまで屋外で、その後は入室して暖房のない室内で、夜間10~15°Cの低温に当てます。高温では花芽を傷めます。

シンビジウム

置き場所 中低温性のランで日光が大好きですので、最低気温が7~8°Cになるまでは屋外で、その後入室して暖房のない明るい場所で管理します。夜間は10~15°Cの低温に十分に当てます。

水やり シンビジウムは水を好みます。屋外では毎朝、葉水も与えましょう。葉裏にも水をかけハダニを防除します。8月中の高温の日には夕方にも水を与え、鉢の周辺にも散水し夜温を下げます。入室後は植え込み材料が乾いたらたっぷり灌水します。

肥料 8月下旬になると栄養生長も終盤になりますので、リン酸分の多い液肥を時々与える程度で良いです。生育の良くない株は入室後も10月末までは肥培しましょう。

◆Q&A

Q

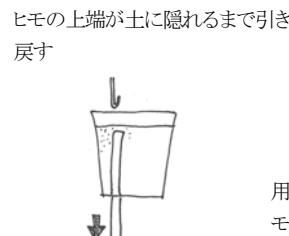
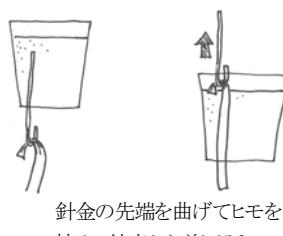
お盆に、家族で実家へ帰省する予定ですが、鉢植え植物の水遣りをどうしたら良いかと悩んでいます。何か良い方法はないでしょうか。(清田区 Tさん)

A

観葉植物など背の高いもの、倒れやすいものは室内に入れるか倒れないように支えておきましょう。特に室内では植物の状態、鉢の大きさ等によっては1週間程度は水をやらずに良いものもあります。

ここではカンタン底面灌水システムをご紹介します。

用意するもの:綿布、針金、水を入れる器(蓋付)



ヒモの数は4号鉢位までなら1本で十分でしょう。鉢の大きさに合わせて偏りのない様に2本、3本と増やしたり、綿ヒモの幅を広げたり、工夫してみましょう。ヒモを通し終えたら、一度、上から水やりをしてヒモと土に隙間のないようにしておきます。なお綿布は切断後、石鹼水につけてもみ洗いしておきましょう。

土の粒子の大きさによっては水が上がりにくかったり上がらなかったりする事がありますので出発前に確かめておきましょう。その他、ペットボトルを利用して灌水するもの、さらにタイマー付の自動灌水機もホームセンター、園芸店などで売られています。いずれの方法でやるにしても直射日光があたらない場所を選びましょう。

8月～9月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 811-6568

内容	日	時間	申込開始日	費用・備考
園芸教室				
ハイビスカスの管理	8/5(日)	13:30～	7/11(水)	無料
おもとの楽しみ方	9/2(日)	〃	8/11(土)	〃
サボテンの秋冬の管理	9/16(日)	〃	9/11(火)	〃
展示会				
ハイビスカス展	7/31(火)～8/19(日)			
サボテンと多肉植物展	9/11(火)～17(月)		北海道カクタスクラブ	
クラフト講習会				
アレンジ押し花講習会 花シール	8/23(木)	10:00～	8/11(土)	1,500円
あけび工房講習会 枠を使った鉢カバー	8/29(水)	〃	〃	2,600円

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 772-3511

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
堆肥づくり見学会	8/18(土)	10:00	〃	200円
手軽に楽しむ盆栽(苔玉など)	9/14(金)	10:00	〃	500円+材料費
展示会				
多肉植物展	7/31(火)～8/12(日)		入館料 130円	
ダリア展	9/11(火)～17(月)		〃	

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 883-2891

内容	日	時間	申込開始日	費用・備考
オンコの整枝剪定	8/26(日)	10:00、13:30	8/11(土)	無料
モミジ・カエデの剪定	9/9(日)	10:00～	〃	〃
アレンジ押し花講習会 コースター	8/3(金)	10:00～	7/11(水)	1,500円
〃 花シール	8/24(金)	〃	8/11(土)	〃
〃 ランチョンマット	9/7(金)	〃	〃	〃

その他のイベント

内容	日	会場	お問合せ
滝野・森の楽校	8/16(木)、8/19(日)	滝野すずらん丘陵公園	滝野公園案内所 592-3333
花と緑のある北のくらし塾	9/1(土)	〃	〃
土曜体験 カエルと遊ぼう	8/11(土)	豊平川さけ科学館	582-7555
〃 サケたちのエサやり体験	8/4、18、25(土)	〃	〃
川へ行こう! 公開さかな調査	8/12(日)	〃	〃
ふしぎたんけんDAY!	8/4(土)	西岡公園	582-0050
もりとあそぼうDAY!	8/5(日)	〃	〃
いきものはつけんDAY!	8/18(土)	〃	〃
もぐもぐ工房	8/5(日)	円山公園	621-0453

豊平公園 緑のセンター 公式ホームページ <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>